SDGs 研究プロジェクトを推進するための基本プラン

持続可能な開発目標(SDGs)を実現するための問題解決に資する研究を SDGs 研究プロジェクトと呼び,総合科学研究所 SDGs プロジェクト推進専門委員会が積極的に支援することで「教学に関する基本方針」の「①独創的・先駆的研究成果の創出とその社会還元 （２）持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた研究の推進」を実現させる。

SDGs は２０１５年国連サミットで提案された人類社会の危機的な状況を回避する目的で設定された。しかし，現在の世界情勢によりその達成が道半ばにして危ぶまれている。２０２２年にはその達成に向けた方向転換として「Earth for all」が提案され，５つの方向転換　①貧困の解消　②不平等への対処　③女性の活躍の推進　④生態系にとって健全な食糧システムの実現　⑤クリーンエネルギーへの移行の５つが重点項目とされた。広く世代を超えて世界で知られた人類にとって持続可能な目標を本学研究の共通したキーワードとして各部科校の研究を支援する。

具体的には，日本大学学術研究助成金制度に準じた助成金制度を創設し，次に挙げる３つの取組みに対し支援を行う。

１．各学部の特色や強みを活用した取組

目的

日本大学の教育理念「自主創造」を教学を超えて広く社会に具現化するため，各学部の研究の専門性を統合した新たな研究分野を創造する。

方略

１）各分野研究の多様性を活かした「知」の統合

２）各分野を超えた研究者間ネットワークの構築

３）プロジェクトを通じた研究開発・特許取得

４）外部機関・団体の各種研究費申請の環境整備

５）各学部における研究指導者と若手研究者の育成

効果

１）本学の更なる総合的研究力の向上

２）外部からの持続的な研究資金獲得

３）研究分野の次世代への発展・継承

２．付属高等学校・中学校・小学校との連携

目的

日本大学の教育理念「自主創造」を世代を超えて広く社会に具現化するため，プロジェクトに生徒が参加する体制を構築する。

方略

１）研究発表会への参加

２）オンライン授業やワークショップの開催

３）SDGs に関する教育プログラムの提供

４）若い世代からの研究提案・参加

効果

１）若者の参加による新たなアイデアの創出

２）持続可能な社会の実現に向けた啓発活動

３）国際社会で活躍できる人材育成（リーダーの輩出）

３．外部機関（関係省庁・国際機関・企業・NPO）との連携

目的

日本大学の教育理念「自主創造」を教学を超えて広く社会に具現化するため，プロジェクトに外部機関が参加する体制を構築する。

方略

１）本学の研究活動・成果に関する情報提供

２）オンライン説明会の開催

３）SDGs に関する研究成果・特許の公開

４）外部機関からの研究提案・参加（資金提供）

効果

１）本学の研究力や社会貢献を広く情報発信する。

２）外部機関の研究助成，事業受注件数を上げる。

３）本学の研究活動に対する社会的評価を高める。